



## 2021年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年11月1日

上場会社名 いであ株式会社

上場取引所 東

コード番号 9768 URL <https://ideacon.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田畑 彰久

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理本部長 (氏名) 大石 敏

TEL 03-4544-7600

四半期報告書提出予定日 2021年11月1日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年12月期第3四半期の連結業績(2021年1月1日～2021年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	16,900	2.5	2,494	21.9	2,133	8.4	1,247	1.4
2020年12月期第3四半期	16,494	1.7	2,046	18.0	1,967	23.1	1,265	25.4

(注) 包括利益 2021年12月期第3四半期 1,396百万円 (22.4%) 2020年12月期第3四半期 1,141百万円 (30.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	174.75	
2020年12月期第3四半期	177.30	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期第3四半期	28,392	19,524	68.8	2,734.54
2020年12月期	26,758	18,343	68.5	2,569.04

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 19,522百万円 2020年12月期 18,341百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期		0.00		30.00	30.00
2021年12月期		0.00			
2021年12月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,400	1.9	2,170	0.1	2,190	3.8	1,470	9.3	205.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年12月期3Q	7,499,025 株	2020年12月期	7,499,025 株
期末自己株式数	2021年12月期3Q	359,679 株	2020年12月期	359,491 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年12月期3Q	7,139,430 株	2020年12月期3Q	7,139,567 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に伴う影響により依然として厳しい状況のなか、ワクチン接種が進むにつれて、各種政策の効果や海外経済の改善もあって持ち直しの動きがみられていますが、感染の再拡大による下振れのリスクも懸念され、景気の先行きは不透明な状況が続きました。

当社グループを取り巻く市場環境は、令和2年度の政府補正予算と令和3年度予算において、防災・減災対策、国土強靱化の推進、自然災害からの復旧・復興の加速、インフラ老朽化対策の推進、気候変動対策、自然との共生・生物多様性の保全と持続可能な利用、環境リスクの管理等の当社グループの強みを活かせる分野に重点配分されており、比較的堅調に推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは、安全・安心で持続可能な社会の実現、サステナビリティを重視した事業展開の推進、コンサルタントとしての技術力の総合化・多様化・高度化、さらには企業価値の向上を目標に事業を推進してまいりました。

また、当社グループは、2019年から2021年までの第4次中期経営計画において、「イノベーションとマーケティングによる市場創生・新規事業の展開と海外事業の拡大」をスローガンに掲げ、①新規事業の創出・新市場の開拓と技術開発の推進、②イノベーションやマネジメントを担える人材の確保・育成、③基幹事業分野の強化、④海外事業の拡大と海外展開の推進、⑤民間・個人市場への展開、ものづくりの推進、⑥IoT・ロボット・AI等先端技術の利活用、⑦働き方改革の推進、⑧組織の一体化・効率化とガバナンス体制の強化、の8つの重要な経営課題に取り組むことにより、強い経営基盤の構築と安定的な成長を目指してまいりました。さらには、新型コロナウイルス感染症拡大への対応として、昨年、食品・生命科学研究所（大阪市住之江区）及び環境創造研究所（静岡県焼津市）を衛生検査所として登録してPCR検査の体制を整備し、社会的な要請に応えるとともに、社員の健康や安全を確保して企業活動を継続してまいりました。

当第3四半期連結累計期間における連結業績については、受注高は再生可能エネルギー関連の環境調査や防災・減災関連業務、インフラ施設の設計・維持管理関連業務、海外における洪水対策調査等の受注が増加したことにより、前年同四半期比10億3千万円増加の188億9千8百万円（前年同四半期比5.8%増）となり、受注残高は期首繰越受注残高及び受注高の増加により、同20億8千7百万円増加の231億9千2百万円（同9.9%増）となりました。

売上高は新型コロナウイルス感染症の影響は軽微に留まり、大規模な海洋環境調査や海底資源開発に係る調査、防災・減災関連業務、インフラ施設の設計・維持管理関連業務等の売上が増加したことにより、同4億5百万円増加の169億円（同2.5%増）となりました。

売上高の増加及び工程管理の徹底や原価・経費の削減に努めた結果、営業利益は前年同四半期比4億4千8百万円増加の24億9千4百万円（前年同四半期比21.9%増）、経常利益は営業外費用で投資事業組合運用損の計上があったことにより、同1億6千5百万円増加の21億3千3百万円（同8.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は法人税等の増加により、同1千8百万円減少の12億4千7百万円（同1.4%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。（セグメント間取引を含んでおります。）

#### （環境コンサルタント事業）

同事業は、当社及び連結子会社4社（新日本環境調査(株)、沖縄環境調査(株)、東和環境科学(株)、以天安（北京）科技有限公司）が行っている事業であり、環境アセスメント及び環境計画部門、環境生物部門、数値解析部門、調査部門、環境化学部門、気象・沿岸部門の6部門より構成されております。

売上高は前年同四半期比2千3百万円増加の107億7千8百万円（前年同四半期比0.2%増）となり、工程管理の徹底や原価・経費の削減に努めた結果、セグメント利益は同1億6千万円増加の14億5百万円（同12.9%増）となりました。

(建設コンサルタント事業)

同事業は、当社が行っている事業であり、河川部門、水工部門、道路部門、橋梁部門、海外部門の5部門より構成されております。

近年頻発する豪雨災害への対応等の防災・減災関連業務やインフラ施設の設計・維持管理関連業務等の売上が増加したことにより、売上高は前年同四半期比3億5千7百万円増加の56億2千万円(前年同四半期比6.8%増)、売上高の増加及び工程管理の徹底や原価・経費の削減に努めた結果、セグメント利益は同2億5千9百万円増加の9億4千3百万円(同37.8%増)となりました。

(情報システム事業)

同事業は、当社が行っている事業であり、システム開発及び画像解析等の事業を行っております。

システム開発に関する業務等の売上が増加したことにより、売上高は前年同四半期比4千1百万円増加の3億9千万円(前年同四半期比12.0%増)となり、売上高の増加及び工程管理の徹底や原価・経費の削減に努めた結果、セグメント利益は同3千3百万円増加の4千7百万円(同246.5%増)となりました。

(不動産事業)

同事業は、当社が行っている事業であり、赤坂のオフィスビル、旧大阪支社跡地等の不動産賃貸事業を行っております。

売上高は前年同四半期比1千万円減少の1億7千4百万円(前年同四半期比5.7%減)、セグメント利益は同5百万円減少の9千8百万円(同5.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

資産合計は、前連結会計年度末と比べ16億3千4百万円増加の283億9千2百万円(前年同四半期比7.5%増)となりました。

流動資産につきましては、主に売上債権の回収及び前受金の増加により現金及び預金が30億7千7百万円増加、受取手形及び営業未収入金が9億3千2百万円減少、第2四半期に完工業務が集中することから仕掛品が6億7千1百万円減少したことにより、前連結会計年度末に比べ14億8千3百万円増加の120億1千万円(前年同四半期比14.5%増)となりました。

固定資産につきましては、主に建物が8億1千2百万円増加、有形固定資産その他が5億1千8百万円減少、投資有価証券が2億1千7百万円減少したことにより、前連結会計年度末に比べ1億5千1百万円増加の163億8千1百万円(前年同四半期比2.9%増)となりました。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末と比べ4億5千3百万円増加の88億6千8百万円(前年同四半期比8.0%増)となりました。

流動負債につきましては、主に支払手形及び営業未払金が4億7千万円減少、税金等調整前四半期純利益の計上による未払法人税等が3億2千4百万円増加、賞与引当金が4億1千2百万円増加したことにより、前連結会計年度末に比べ5億2千5百万円増加の57億9千1百万円(前年同四半期比37.2%増)となりました。

固定負債につきましては、主に繰延税金負債が7千万円減少、退職給付に係る負債が1千8百万円増加、固定負債その他が1千7百万円減少したことにより、前連結会計年度末に比べ7千2百万円減少の30億7千6百万円(前年同四半期比22.9%減)となりました。

(純資産)

純資産につきましては、主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が10億3千2百万円増加したことにより、前連結会計年度末に比べ11億8千万円増加の195億2千4百万円(前年同四半期比7.3%増)となりました。

企業の安定性を示す自己資本比率は、当四半期連結会計期間末は、前連結会計年度末に比べ0.3ポイント上昇の68.8%(前年同四半期は68.9%)となり、また、支払能力を示す流動比率は、前連結会計年度末に比べ7.5ポイント上昇の207.4%(同248.3%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、前回の業績予想（2021年2月8日発表「2020年12月期決算短信」）から変更はありません。

なお、第3四半期連結累計期間において、売上高は169億円（前年同四半期比2.5%増）となり、通期予想売上高204億円の82.8%を計上いたしました。また、例年、当社グループの売上高は上半期に集中する季節変動特性を有しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,394,267	5,471,559
受取手形及び営業未収入金	1,260,702	328,374
有価証券	946	1,593
仕掛品	6,715,934	6,044,746
貯蔵品	48,090	46,019
その他	116,410	125,807
貸倒引当金	△8,621	△7,131
流動資産合計	10,527,729	12,010,968
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	4,009,066	4,821,813
土地	7,777,542	7,777,542
その他（純額）	1,579,578	1,061,087
有形固定資産合計	13,366,187	13,660,443
無形固定資産	62,371	145,574
投資その他の資産		
投資有価証券	1,825,620	1,608,531
繰延税金資産	8,906	35,233
その他	1,015,075	974,977
貸倒引当金	△47,736	△43,300
投資その他の資産合計	2,801,866	2,575,442
固定資産合計	16,230,426	16,381,461
資産合計	26,758,156	28,392,429
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,122,179	651,509
1年内償還予定の社債	1,025,000	1,000,000
未払法人税等	425,742	750,470
賞与引当金	97,216	509,281
受注損失引当金	3,798	2,280
その他	2,591,960	2,878,014
流動負債合計	5,265,898	5,791,556
固定負債		
長期借入金	100,000	100,000
繰延税金負債	89,895	19,508
役員退職慰労引当金	340,969	337,569
退職給付に係る負債	2,481,356	2,500,084
その他	136,946	119,664
固定負債合計	3,149,166	3,076,826
負債合計	8,415,064	8,868,383

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,173,236	3,173,236
資本剰余金	3,352,573	3,352,573
利益剰余金	11,565,163	12,597,479
自己株式	△139,870	△140,213
株主資本合計	17,951,103	18,983,075
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	364,489	500,167
為替換算調整勘定	285	20,847
退職給付に係る調整累計額	25,867	18,708
その他の包括利益累計額合計	390,642	539,722
非支配株主持分	1,345	1,248
純資産合計	18,343,091	19,524,046
負債純資産合計	26,758,156	28,392,429



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年9月30日)
売上高	16,494,979	16,900,857
売上原価	11,421,303	11,225,033
売上総利益	5,073,675	5,675,823
販売費及び一般管理費	3,027,495	3,181,588
営業利益	2,046,179	2,494,235
営業外収益		
受取利息	795	772
受取配当金	12,314	14,760
受取保険金及び配当金	9,231	9,572
保険解約返戻金	19,680	17,234
その他	16,333	22,331
営業外収益合計	58,354	64,672
営業外費用		
支払利息	3,971	2,507
持分法による投資損失	19,525	36,863
投資事業組合運用損	106,245	381,414
その他	7,464	5,024
営業外費用合計	137,207	425,809
経常利益	1,967,326	2,133,097
特別利益		
固定資産売却益	67,704	—
特別利益合計	67,704	—
特別損失		
固定資産除却損	83,992	—
特別損失合計	83,992	—
税金等調整前四半期純利益	1,951,038	2,133,097
法人税、住民税及び事業税	720,538	1,027,597
法人税等調整額	△35,286	△141,930
法人税等合計	685,252	885,666
四半期純利益	1,265,785	1,247,431
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△93	△216
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,265,879	1,247,647

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	1,265,785	1,247,431
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△122,765	135,677
為替換算調整勘定	△570	6,691
退職給付に係る調整額	421	△7,158
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,405	13,990
その他の包括利益合計	△124,319	149,199
四半期包括利益	1,141,465	1,396,631
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,141,570	1,396,727
非支配株主に係る四半期包括利益	△105	△96

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	環境コン サルタン ト事業	建設コン サルタン ト事業	情報システ ム事業	不動産 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	10,744,570	5,262,966	348,312	139,129	16,494,979	—	16,494,979
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10,942	—	—	45,499	56,441	△56,441	—
計	10,755,512	5,262,966	348,312	184,628	16,551,421	△56,441	16,494,979
セグメント利益	1,244,074	684,516	13,733	103,856	2,046,179	—	2,046,179

(注)1セグメント間取引消去によるものであります。

2セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2021年1月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	環境コン サルタン ト事業	建設コン サルタン ト事業	情報システ ム事業	不動産 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	10,761,350	5,620,693	390,214	128,598	16,900,857	—	16,900,857
セグメント間の内部 売上高又は振替高	17,523	—	—	45,459	62,982	△62,982	—
計	10,778,874	5,620,693	390,214	174,057	16,963,839	△62,982	16,900,857
セグメント利益	1,405,046	943,570	47,591	98,026	2,494,235	—	2,494,235

(注)1セグメント間取引消去によるものであります。

2セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。